



いじめ しない！させない！ゆるさない！

月日が流れゆくのは本当に早いもので、2月も1週間が過ぎました。およそ1箇月後の3月11日（月）は、第71回卒業証書授与式です。平日だけを数えると20日後にあたります。その前に3年生は、10日の私学入試、14日の公立の学力検査が間近に迫っています。ベストコンディションで、努力の成果を遺憾なく発揮できるよう願うばかりです。

平成30年度もまとめの時期となり、残り少なくなってまいりましたが、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、5日（火）に放送朝会において、次の話（一部加筆）をしました。すでに保護者の皆様のお手元に届いていることと思いますが、5日に配付しました茅ヶ崎市いじめ防止対策調査会並びに茅ヶ崎市教育委員会学校教育指導課からの「いじめ しない！させない！ゆるさない！」の資料をもとに、いじめについての重ねての指導の機会といたしました。各ご家庭におかれましても、お子様と「いじめ」について話題にさせていただきたく、ご指導のほど重ねてお願い申し上げます。

皆さん、おはようございます。昨日は暖かくてよかったですが、その分、今日は寒く感じます。皆さん、健康管理には十分に気を付けましょう。

さて、2月になったと思ったら、もう5日です。3年生の多くは、10日に私学、14日に公立の受験があり、いよいよあと少しですね。焦るのではなく、「あと少しで終わる」「最後までこの団体戦を仲間とともにがんばろう！」という前向きな気持ちで頑張ってもらいたいと思います。

さて、先週の朝、職員玄関で上履きを履き替えている時に、女子テニス部の1年生が「おはようございます。」とさわやかに挨拶してくれました。「おはようございます。カギ返しに行くのかな？いいよ、預かるから・・・」と言って受け取ると、「有難うございます。校長先生、今日も頑張ってください。」と言われました。「今日は」でなく「今日も」と言ってくれたのが嬉しかったです。

今朝は、卓球部の2年生の少年が、やはり職員玄関で靴を履き替えている時に、後ろから「おはようございます。」と声をかけてくれました。ボール当番だったのか、ボールケースを持っていました。正面から顔が会っての挨拶もとても嬉しいのですが、後ろから挨拶されるって、さらに嬉しく、その人の気持ちが伝わってくるようで心が温かくなりました。さすがは、4月からは3年生ですね。すばらしい！

さて、A3版裏表の「いじめ しない させない ゆるさない！」についてお話しします。このプリントは、茅ヶ崎市いじめ防止対策調査会と教育委員会が、全ての小中学生とその保護者に向けて用意したものです。必ず、保護者に渡してください。

テレビや新聞で幾度も報道されているので、皆さんもよくわかっているように、茅ヶ崎市内の小学校では、2年生の時に受けたいじめによって2年以上不登校となっていた児童がいます。楽しい学校生活があったはずなのに、「いじめ」によりその生活を台無しにされてしまいました。皆さんの生活するこの鶴嶺中においても、1年生・2年生では、上履き隠しや落書き等が無くなりません。「いじめは、いかなる理由があっても決して許されない行

為」と頭ではわかっている、先生方に何度も言われて耳にタコができていても、やってしまうのはなぜでしょう？「だって、あいつが……だから。」「そんならいで先生に言うな！」そんなことを思っている人たちは、実際に、その人が学校に来られなくなったり、命を絶ってしまったりした時に、誰がどう責任を取れるのでしょうか？「私のせいじゃない」「自分だけじゃない」と言うのでしょうか？言い訳にならない言い訳をして、それで自分の責任を回避できると思うのでしょうか？責任なんて誰にも取れません。人の人生を奪うようなことをしていいはずがありません。人権侵害です。

ここで「いじめの定義」を確認します。プリントを見てください。いじめを受けている人にとっては、周りの人が「傍観者」になってしまうか、「一緒に闘ってくれるか？」「『変だよな？』と思ってくれるか？」その雰囲気によって、最後の一线を越えてしまうかどうかが決まるのではないかと思います。

いつも言っているように雰囲気はとても大事です。嫌な思いをしている人は我慢する必要はありません。公になって困ることをしている方が悪いのです。報告されて困るようなことをしている人が行動を改めるべきなのです。「バレなきゃいい、バレるまではいい、オレだけじゃない、私だけじゃない」は通用しません。人として恥ずかしいだけです。

603人の全校生徒全員が、「いじめはダメ、絶対」「みんなだれかのだいじ」「怒」を忘れずに生活してくれることを願っています。

最後に暴力は何かがあってもダメですが、相手を傷つけるようなことを言ったりして、暴力を受けることのないように気を付けることも必要です。大人でもあおり運転をしたりする人がいるくらいです。中学生では、感情を抑えきれずに暴力をふるってしまうこともあるかもしれません。もちろん、そういう案件についても暴力は許されませんが、相手を挑発するようなことは慎んでほしいと思います。いずれの場合もまだまだ中学生の皆さんですから、重大事案となる前に一人ひとりがよく考えて行動できるようになってくれることを願っています。

いじめる人はいつでも「冗談」 やられる人はいつでも「本気」

誰かをいじめてよい理由はひとつもないこと、また、その行為は人権侵害であることを確認する意味も込めて、この言葉を校内に掲示しています。



職員玄関に入って2階に上がる階段には、毎月1組の皆さんがその月ごとの作品を掲示しています。

2月の作品は、梅の花や節分の鬼、恵方巻などが描かれています。全員で協力して丁寧に仕上げている完成度の高い作品です。来校者の目を楽ませる美術の時間や美術部の作品も素晴らしいのですが、まず目に入る1組の季節感あふれる作品についても、多くのお客様がお誉めくださいます。

